

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

8月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「クルマバナ シソ科」

多年草。唇形の花が穂先に数段輪生する。下唇は大きく三裂し、内側に赤い斑点がある。



「ツクサ ツクサ科」

道端の湿った場所に群生する。若芽や葉は食用になる。3枚の花弁のうち1枚は白色でごく小さい。



☆「ヒナギキョウ キキョウ科」☆

花の直径は5～8mm。日の当たる乾いた草地に生える。花は枝先に一つだけつく。



「ヤマハギ マメ科」

山野にひろく生える落葉木。茎の上部の葉腋から柄を出し、薄紅色で蝶型の花をつける。



☆「ヤブガラシ ブドウ科」☆

つる性植物。つるを伸ばして、他の植物を覆い枯らす程の繁殖力があるため「藪枯（やぶがらし）」



「ヤマノイモ ヤマノイモ科」

雌雄異株。写真は雄花。地下にできる長いイモは自然薯と呼ばれ食べられる。ムカゴも食用できる。



「カナブン コガネムシ科」

幼虫は腐葉土を食べ、成虫は主に樹液などを餌にする。コガネムシとは食性が異なる。



「ツチナゴ バッタ科」

成虫で越冬する珍しいライフサイクルを送る。あまり飛ばず、跳ねたり歩いたりすることが多い。



「クマゼミ セミ科」

午前中によく鳴く。本種の抜殻には『へそ』のような突起があり他種の抜殻と見分けがつきやすい。

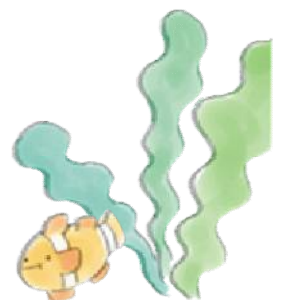
☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！宇久井ビジターセンターへ！立秋を過ぎ夏の暑さも和らいでくる頃でしょうか。とはいえ熱中症対策を万全にしてお過ごしください～

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年8月後半号

宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

千尋の浜

(上地の浜)

松尾展望広場

外の取

フェリーターミナル方面
通行できません

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

上野展望台
防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

タブノキ

木のすき間から浜が見えます。

ヤブツバキ

ヤマモモ

至休暇村

トベラ

ビジターセンター

ヤブツバキ

アキグミ

ヤブツバキ

竹林

木のすき間から
海が見えます。

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

沢

竹林

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ



凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段